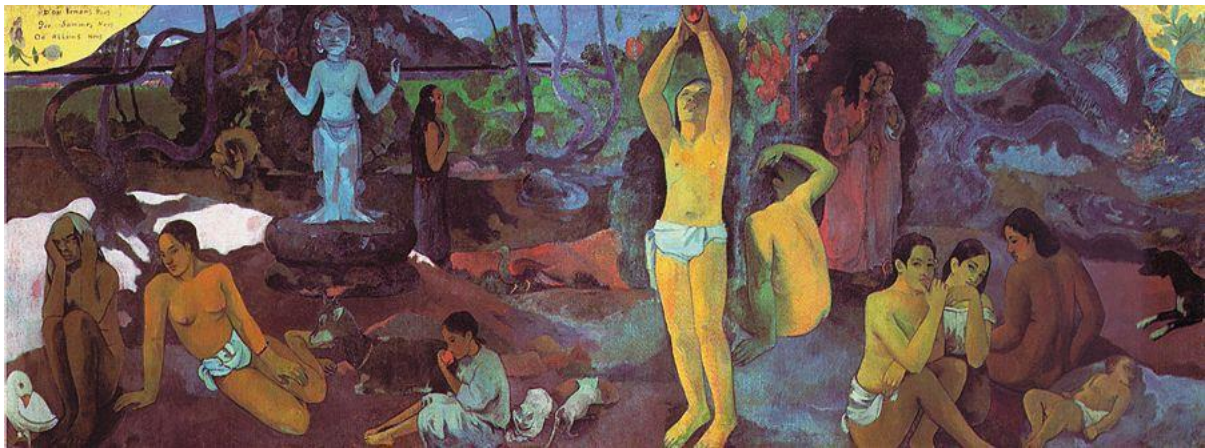


# 宗教学研究室紀要

THE ANNUAL REPORT ON PHILOSOPHY OF RELIGION



2023 vol.20

京都大学 文学研究科 宗教学専修 編

オンライン刊行物 [http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/religion/rel-top\\_page/](http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/religion/rel-top_page/)

<特集：情感性概念の応用的拡張(ポール・オーディ来日記念)>

- まえがき 伊原木 大祐 (3)
- ミシェル・アンリによる感情の『実在性』  
ポール・オーディ (訳：笠木 丈) (5)
- 自己感知の本源性の起源について 笠松 和也 (24)
- 臨床心理士として仕事をしているときに経験した情感性は、どのように書けば迫真性  
をおびて伝わるだろうか 塩飽 千丁 (36)
- 情感性と自己感——アンリからスターンへ 伊原木 大祐 (45)

<公募論文>

- 井筒俊彦の禅理解における意味分節の三段階  
——ジーン・ブロッカーの禅理解との比較から 林 哲平 (56)
- 後期シモーヌ・ヴェイユにおける「偶像崇拜」批判の理路  
——アランの知覚論との関連から 辻 光一 (84)

<研究ノート>

- ガブリエル・マルセルの手紙 鳥尾 理沙 (109)
- ベルクソン『意識に直接与えられたものについての試論』における社会的生 楠原 涼平 (117)

編集後記

(127)